

平成 28 年 10 月 11 日  
株式会社日本政策金融公庫  
東京中央支店

## 『外国人起業家サポート@港』を立ち上げ！

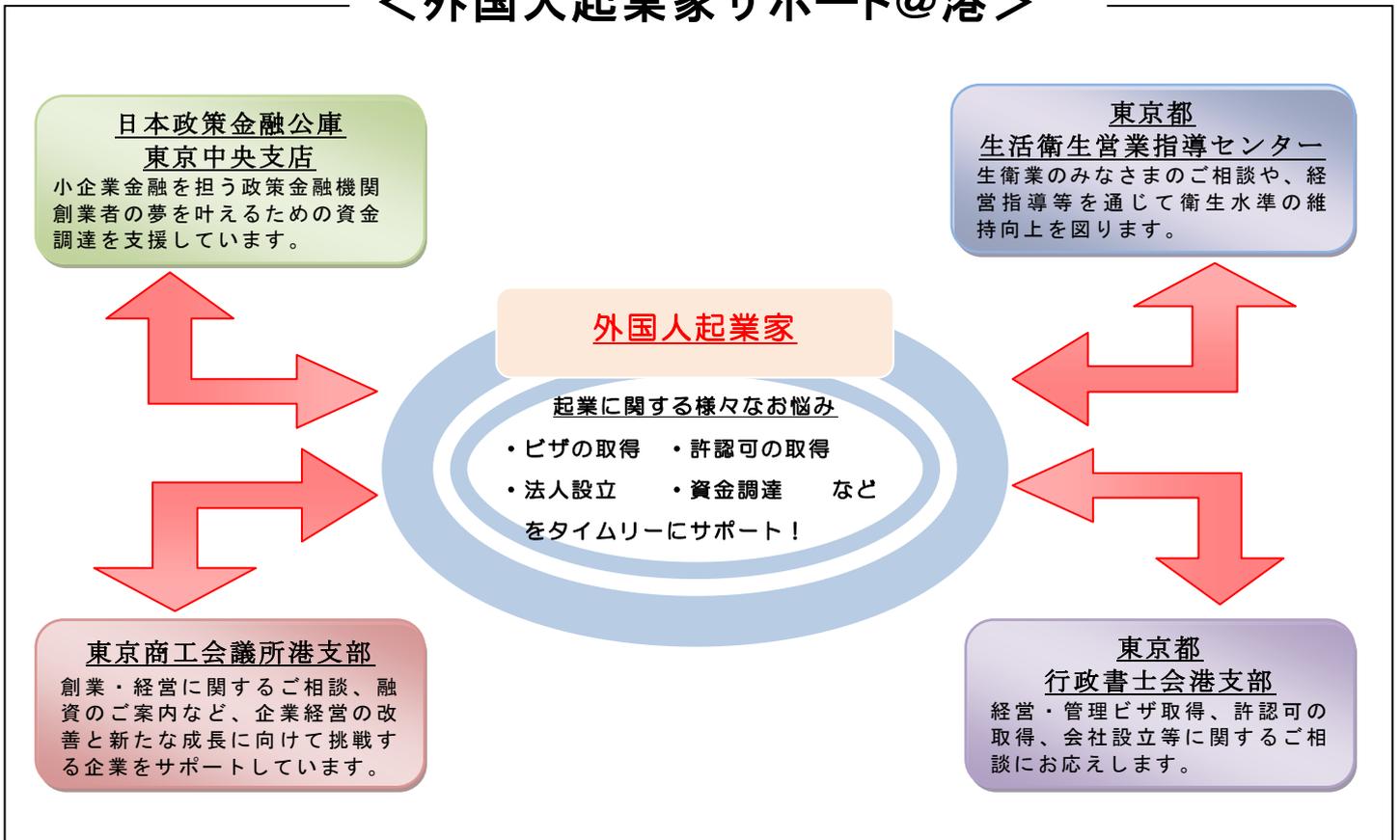
～4つの機関が、港区で起業する外国人をサポート～

日本政策金融公庫東京中央支店(略称:日本公庫)が中心となり、『外国人起業家サポート@港』を立ち上げました。外国人による起業が多いという港区の特性に着目した地域密着型のスキームで、開業手続きや日本でのビジネスに不慣れな外国人起業家をサポートするのが目的です。具体的なサポート事例は裏面のとおりです。

立ち上げの趣旨に賛同した東京都行政書士会港支部、東京商工会議所港支部、東京都生活衛生営業指導センターとともに、これまで単独の機関では対応が難しかった相談にも、各機関の強みを活かして対応できるため、これまで以上に効果的かつタイムリーにサービスを提供できます。

具体的な取組みとして、港区で創業を予定している外国人や創業後間もない外国人を対象に、各機関がもつ情報を提供するとともに、起業に関する様々なお悩みをサポートしていきます。

### <外国人起業家サポート@港>



<お問い合わせ先>株式会社日本政策金融公庫 東京中央支店 国民生活事業(担当:虎島・黒岩)  
Tel:03-3553-3443

# 日本公庫が支援した港区で創業した外国人起業家の例

## 1 カールソンワークス合同会社 代表カールソン アンディッシュ エリク氏

- 代表者はスウェーデン出身。母国で王立工科大学の物理学教授として勤務し、平成4年に日本の大手企業の研究所の博士研究員として初来日。いったん帰国したのち、平成 19 年に駐日大使館の科学技術参事官として再来日。参事官の任期満了後もオランダ系の科学技術出版社の日本支社に従事していた。
- 日本人の妻と結婚し、妻と共同して事業を行うために平成 25 年港区南麻布に法人を設立。事業内容は、フランスのシャンパンを輸入し、日本の飲食店向けに販売するもの。
- 輸入シャンパンを飲食店のオリジナルブランド(ハウスワインならぬハウスシャンパン)として販売できるようにするのが特長。国内の飲食店向けの提案・営業は妻が担当し、フランスのシャンパンメーカーへの交渉を代表者が担当している。
- 代表者のビザ取得や酒類販売免許取得を行政書士がサポート。シャンパン仕入れのための運転資金を公庫が平成 28 年6月に 300 万円融資した。

## 2 その他の事例

出身国	事業内容	公庫の支援内容
中国	焼肉店	平成 28 年 10 月、店舗開設資金として 2,000 万円融資
アメリカ	国内外の市場調査	平成 28 年 1 月、諸経費支払資金として 1,000 万円融資
イラン	陶芸教室	平成 27 年 12 月、諸経費支払資金として 1,000 万円融資
カナダ	ウェブデザイン業	平成 27 年 12 月、諸経費支払資金として 500 万円融資
コロンビア	コーヒー豆卸売業	平成 27 年 7 月、仕入資金として 1,000 万円融資